

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>1</b></p> <p style="text-align: center;"><b>31 番 永島義雄</b></p>	<p><b>1. 将来的に人口減少の中での第三セクター鉄道の経営等について</b></p> <p>(1) 第三セクターのえちごトキめき鉄道株式会社と北越急行株式会社には、市民の大切な税金が投入されている。株主である市として、これら第三セクターの経営状況をどう見ているか。また、第三セクターを支援する市の財政面に不安はないのか聞きたい。</p> <p>(2) 市として、鉄道をいかしたまちの活性化、地域開発、イベント等による交流人口の拡大による乗降客の増加を図るため、上越教育大学前の新駅構想と開発の考えがあるか聞きたい。</p> <p>(3) 北越急行が走る妻有の郷には、数年前より、広域で取り組む大地の芸術祭が定着している。この祭典では、世界や国内の芸術家による室外展示の芸術作品が数多く展示され、多くの人が集まり、また、住民も積極的に協力し、新たな定住者が増加し、住民の心にも変化が表れている。当市が中心となり、北陸新幹線、えちごトキめき鉄道、北越急行をいかして、より広域的に連携した中で、芸術祭や、スポーツ、伝統と歴史をいかした研究会、産業、特産品のイベントそれぞれの個性をコラボした企画などの広域イベントを行う考えはないか。</p> <p><b>2. 新教育長の教育理念について</b></p> <p>(1) 人間形成の中で、義務教育の 9 年間は、生き方の基本が固まる程重要な時期であると思うが、教育行政の最高責任者としての抱負を聞きたい。</p> <p>(2) 学校は、今様々な問題を抱えている。荒れたり切れたりする子ども、いじめや人間関係がうまく築けずに不登校になる子ども、子ども同士の差別、パワハラ、落ち着いて勉強ができない子ども、家庭内が混乱している子どもなど問題が複雑化する中で、問題解決の考えを聞きたい。</p> <p>(3) 道徳教育こそ教育の基本と考えるが、日本の歴史や神話から道徳を教えるほど、歴史教育が大切である。平和を教えるには表裏一体の戦争がある。勝者により歪曲された歴史観に基づかない、真実の戦争史を教育する考えはないか聞きたい。また、郷土史をもっと教える考えはないか。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>2</b></p> <p style="text-align: center;"><b>20 番 杉田勝典</b></p>	<p><b>1. 当市の経済情勢の動向と若者の地元就職の促進について</b></p> <p>(1) 当市における直近の経済動向（景況など）や雇用情勢について、どのように捉えているか。また、市内企業における「働き方改革」による生産性向上に向けて必要な取組を市としてどのように考えているか。</p> <p>(2) 小規模企業振興基本法が制定されたが、当市は従業員 10 人未満の小規模な事業所も多いことから、条例を制定し、小規模な事業所の振興に取り組む考えはないか。</p> <p>(3) 若者の地元での就職を応援するため、専用スマートフォンアプリを通してハローワークや県などと連携し、市内企業の採用募集情報や就職説明会の日程、企業が行っている支援制度や面接等の役立つ情報を配信してはどうか。</p> <p><b>2. 北前船寄港地に関する取組について</b></p> <p>(1) 北前船日本遺産への追加登録申請に向けた取組を始めた背景は何か。また、北前船に関連する史跡等や直江津港とその周辺に果たした役割を聞きたい。</p> <p>(2) 北前船日本遺産追加登録のメリットをどう考えているか。また、登録に向けた今後の取組内容やスケジュールの見通しはどうか。</p> <p>(3) 全国の北前船寄港地で開催されているフォーラムの開催を当市で検討してはどうか。</p> <p><b>3. 動画共有サイトを利用した PR 動画について</b></p> <p>(1) 上田市や小諸市などでは、アニメや職員出演ドラマなどストーリー性のある PR 動画を作成し、YouTube で発信しているが、当市でも同様の手法で、若者などから注目を集めるような PR を行ってはどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
3	<p>1. 市長 8 年間の総括と今後の財政運営について</p> <p>(1) 市長は、これまで 2 期 8 年間にわたる市政運営の成果と課題をどう総括しているか。</p> <p>(2) 市長選への出馬を表明したが、更なる財政健全化に向け、今後の財政運営をどのように考えているか聞きたい。</p> <p>2. 市庁舎の配置及び機構の見直しについて</p> <p>(1) 市役所第 2 庁舎の火災を受け、今後の庁舎の配置及び機構をどのように考えているか。</p>
8 番 池 田 尚 江	
順位	質 問 事 項
議席 氏名	
4	<p>1. (仮称) 上越市体操アリーナについて</p> <p>(1) 事業費が当初より大幅に膨らみ、これまでの説明と大幅に乖離があるが、市民に対しどのように理解を得るのか、新市建設計画や財政面を含めて考えを聞きたい。</p> <p>(2) 建設候補地において所有者が実施した調査では、環境基準値を上回るテトラクロロエチレンと鉛が検出された。一方、市による水質調査では、全ての地点で基準値未満だったと報告されたが、市としてどのように判断し、選定したのか聞きたい。また、市民の理解を得るためには、市として土壌調査を実施するべきではないか。</p> <p>(3) 大潟区地域協議会では、「設置は適当」とする一方、多くの課題も指摘された。地元はもちろん、他の地区の住民に対しても報告する必要があると思うがどうか。</p> <p>(4) 施設規模が大幅に拡大されたが、維持管理費は、当初計画と比較してどのように見込んでいるのか聞きたい。</p> <p>(5) 一般市民の利用については、どのような使い方を想定しているのか聞きたい。また、利用者数の予測についてもあわせて聞きたい。</p> <p>2. 上越地域医療センター病院について</p> <p>(1) 上越地域医療センター病院基本構想策定委員会が設置され、7 月に第 1 回会議が開催された。今後、規模や建設予定地などをまとめ、高田区地域協議会への諮問、パブコメを経て、平成 30 年 3 月議会に新年度予算として計上される予定となっている。建設予定地をめぐっては、現在 3 地域が要望を行っているが、拙速に結論を出さず慎重に検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 上越医師会に委託している指定管理業務は、平成 30 年 3 月末の契約満了をもって更新せず、それ以後は未定である。市では直営、指定管理、独立行政法人化、民間譲渡等も視野に検討しなければならないと思うが、この問題に関しては、誰が責任をもって判断していくのか聞きたい。</p> <p>(3) 7 月に発足した上越地域医療センター病院基本構想策定委員会は、行政・医療機関などの専門家らに公募市民 2 名を合わせた 10 人の委員で構成される。公募市民の 2 名は、どのようにして選定されたか聞きたい。</p> <p>3. PFI 手法の導入について</p> <p>(1) 総務省は、「多様な PPP/PFI 手法導入を優先的に検討するための指針」を決定し、人口 20 万人以上の地方公共団体に対し、平成 28 年度末までに優先的検討規程を策定することを要請した。当市も策定したとしているが、どのような内容か。</p> <p>(2) 当市における PFI 手法の導入のメリット・デメリットについて聞きたい。</p> <p>(3) 今後、当市においてはこの手法を積極的に導入していくのか聞きたい。</p>
30 番 近 藤 彰 治	

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>5</b></p> <p style="text-align: center;"><b>3 番 丸 山 章</b></p>	<p><b>1. 市長の政治姿勢について</b></p> <p>(1) 新上越斎場建設に合わせた頸北斎場の廃止計画は白紙となった。この件に関する説明責任について、経塚斎場を利用する中郷区、板倉区に対しては、どのように対応したのか聞きたい。また、公の施設の再配置が進められている各区に対しては、今回の件を踏まえてどう対応するのか、あわせて聞きたい。</p> <p><b>2. (仮称)上越市体操アリーナ整備について</b></p> <p>(1) 平成 31 年 12 月に竣工予定であるが、今後、大幅な人口減少が予測される中、20 年後、40 年後もこの施設が有効に活用されるのか聞きたい。</p> <p>(2) 整備予定の競技種目に係る市内の中学校、高校の部活動の状況をみると、器械体操は中学校で 2 校 41 名、高校で 2 校 13 名(うち県外出身者 3 名)が、新体操は中学校で 2 校 23 名、高校で 1 校 7 名(うち市外出身者 1 名)が競技している。器械体操のうちトランポリンの競技はなかった。この現状をどう考えるか。</p> <p>(3) 「体操のまち上越」という表現は、いつからどのような経緯で使われてきているのか聞きたい。</p> <p>(4) 建設予定地内にテトラクロエチレンと鉛があり、土地所有者が除去したうえで市に売却するとしているが、市は、除去の確認をどのようにして行うのか。</p> <p>(5) 公の施設の再配置等により関係する区の住民に相当な我慢を強いる一方、(仮称)上越市体操アリーナは、当初計画を変更して整備費が大幅に増加した。これまでの行革の取組に逆行していると考えますが、これで市民の理解は得られるのか聞きたい。</p> <p>(6) 当市では、少子高齢化対策、中心市街地対策、中山間地域対策、農業問題など、喫緊の課題が目白押しであり、特に人口減少問題は待ったなしの現状にある。これらに比べれば、(仮称)上越市体操アリーナの優先順位は低いと考える。計画当初の規模に見直すべきと考えるがどうか。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>6</b></p> <p style="text-align: center;"><b>11 番 櫻 庭 節 子</b></p>	<p><b>1. 地方創生推進交付金の活用に向けた当市の取組について</b></p> <p>(1) 来年度の交付金獲得に向け、当市では、どのような事業が候補として挙げられているか。</p> <p>(2) 日本版 DMO の調査・研究の取組に対しても地方創生推進交付金を使った事業として取り組むことができる。来年度、申請する考えはないか。</p> <p>(3) 創造行政研究所が平成 27 年に行った地方創生フォーラムにおいて、パネリストの皆さんから多くの示唆をいただいたと思う。それらの提案を基にした事業を検討してはどうか。</p> <p><b>2. 小・中学校における英語教育の推進等について</b></p> <p>(1) 市内の英語に堪能な日本人を英語指導助手とし、小学校における授業に活用することを検討できないか。</p> <p>(2) 全市レベルでの小・中学生による英語スピーチコンテストとその成績優秀者による他校訪問などの交流事業を年一回行うことはできないか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>7</b></p> <p style="text-align: center;"><b>2 番 牧田 正樹</b></p>	<p><b>1. 化学物質過敏症に対する取組について</b></p> <p>(1) 家庭などで使用される化学物質等の影響により日常生活が困難になる化学物質過敏症の原因と症状について、どのように認識しているか。</p> <p>(2) 化学物質過敏症に関して園児、児童、生徒をはじめ市民から市に対しての相談はあるか。また、それに対する対応状況はどうか。</p> <p>(3) 化学物質過敏症(様症状を含む。)の市民に配慮した取組に関し、他市では化学物質の使用自粛を啓発するポスターの掲示、職員による香水の使用自粛、学校給食エプロンの柔軟剤使用に対する配慮などに取り組んでいるが、当市では今後どのように取り組む考えか聞きたい。</p> <p><b>2. 土地改良施設の移管及び安全対策について</b></p> <p>(1) 土地改良施設のうち、市街地にあり、すでに農業の用に供していない用排水路の市への移管についてどのように考えているか。</p> <p>(2) 土地改良施設の安全対策を行う場合、現在の補助制度に、市としても応分の補助を行うべきと思うがどうか。</p> <p><b>3. 障がい者 IT サポートの推進について</b></p> <p>(1) 障害者差別解消法が施行され、自治体などは、「社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮をしなければならない」こととされた。これを踏まえ、障がい者の IT 利用に関する各種相談、支援を行う IT サポートの取組について、当市における現状はどうか。</p> <p>(2) IT サポートの推進に向け、今後どのような取組を行っていく考えか。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>8</b></p> <p style="text-align: center;"><b>10 番 石田 裕一</b></p>	<p><b>1. 認知症予防の取組について</b></p> <p>(1) 市では「認知症サポーター養成講座」に取り組み、現在約 15,000 人を養成しているが、当市の認知症予防の取組にどう生かされ、機能しているのか。また、今後地域の支え合いと見守りが重要になっていく中で、「認知症サポーター」が活躍する場面をどのように提供していく考えか、今後の目標について聞きたい。</p> <p>(2) 医療と介護が連携して取り組む認知症対策は、第 6 期介護保険事業計画の重要な施策のひとつである。その中で、認知症初期集中支援チームと認知症地域支援推進員とが連携した取組の成果はどうか。また、認知症の人を地域でどう支えていくかを示した「認知症ケアパス」を作成し、市民の皆さんに周知していくとしているが、その成果について聞きたい。</p> <p>(3) 認知症は、本人だけでなく、介護する家族にとっても問題が起りやすく、負担も大きい。その対応と支援をどう行っているか聞きたい。</p> <p>(4) タブレット端末を活用したタッチパネル式の簡易認知症テストの導入について、市は、「認知症の疑いのある人は自身での操作が困難であることや認知症状を自覚されていないため、正確な回答ができないなどの課題もあるため導入を考えていない」としているが、軽度認知症や若年性認知症の早期発見、早期対応に効果があり、若い世代から検査を受けることで発症の予防や認知症に対する正しい理解の促進にもつながることから、実践できる環境を各地域自治区(地区公民館等)に整備するべきと考える。再度導入を検討し、第 7 期介護保険事業計画に盛り込む考えはないか聞きたい。</p>

順位	
議席氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>9</b></p> <p style="text-align: center;">4 番 宮川大樹</p>	<p><b>1. 総合的な防災政策について</b></p> <p>(1) 近年、豪雨水害をはじめ、大規模火災、地震、地滑りなどの自然災害が多発している。加えて北朝鮮によるミサイルの脅威も生じている。これらを踏まえ、当市における総合的な防災対策や危機管理について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 9月2日に市内において、県と合同で26年ぶりとなる総合防災訓練が行われたが、市として今回の訓練をどのように評価しているか。</p> <p>イ 平成28年12月に糸魚川大火が発生し、今年3月、南本町1丁目地内でも4棟を焼く火災が発生している。また、高田・直江津には、雁木を含む木造密集市街地があるなか、当市の家屋連担地域における防火対策に関する取組の進捗状況と市民に対する防火啓発活動について聞きたい。</p> <p>ウ 7月1日からの豪雨により、市内各地で道路の冠水をはじめ多くの被害が生じた。今回の豪雨への対応をどのように総括したか。</p> <p>エ 近年、局地的豪雨による被害が毎年発生している。今年も、重川や瀧川など保倉川流域で冠水し、消防団によるポンプ排水も行われたが、中洲の撤去や護岸工事など、どのように取り組んでいるのか。</p> <p>オ 7月に九州北部で発生した豪雨では、法面が崩落して流木が橋を塞いだことで川が氾濫し、甚大な被害が発生した。当市でも昭和40年の名立豪雨で橋が流されて川が氾濫した記録があるが、これらの災害を教訓として、当市ではどのような対策を講じているか。</p> <p>カ 5月に開かれた関川・保倉川治水対策検討部会において、保倉川治水対策は放水路が最適と判断が示された。今年も豪雨が発生しており早急な進展が求められるが、市の対応を含む進捗状況を聞きたい。</p> <p>キ 8月29日の早朝に北朝鮮がミサイルを発射し、Jアラートが起動した。当市においては、防災行政無線等を通じ市民に緊急情報を伝達したところであるが、一部機器に不具合が発生し、第1報が放送されなかったとの報道があった。また、一部の市民からは様々な機器から放送が流れることで内容が聞き取りづらいとの声もあるが、これらに対し今後どのように対応していくのか聞きたい。</p>
順位	
議席氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>10</b></p> <p style="text-align: center;">25 番 武藤正信</p>	<p><b>1. 農業政策について</b></p> <p>(1) 来年度から米政策が大転換し、生産者や集荷業者・団体が需要に応じてどのような米を、どのくらい生産するかなどを自ら決められるようになる。経営の自由度の拡大を目指すとなっているが、それぞれの需給対応、価格情報、販売進捗、在庫情報などは、どういう形で生産者に伝わるのが望ましいと考えるか。</p> <p>(2) これまでの生産調整に対する交付金の趣旨が農家に正しく理解されていない面もある。生産調整廃止後における交付金のあり方に対する市の考えを聞きたい。</p> <p>(3) 鳥獣害による農作物の被害が拡大しており、イノシシなどによる被害が増大している。どう対策を講じる考えか聞きたい。</p> <p><b>2. 中山間地対策について</b></p> <p>(1) 中山間地域は、少子高齢化、人口減少が特に深刻であるが、当市では、中山間地域振興基本条例を制定する中で中山間地対策に取り組んできている。中山間地対策として、特に移住施策や地域おこし協力隊事業が有効と考えているが、市長の考えを聞きたい。</p> <p><b>3. (仮称) 上越市体操アリーナについて</b></p> <p>(1) 建設費が当初の5億円から最大26億円と増大している。これに至る経過と対応について詳しい説明を聞きたい。</p> <p>(2) ドイツの体操選手団が、オリンピックの事前合宿をこの施設で行うとしている。その後の施設利用の計画について聞きたい。</p> <p>(3) 市民の健康増進施設として利用するとしているが、どのような利用を想定しているのかその詳細を聞きたい。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p>11</p> <p>6 番 本 山 正 人</p>	<p>1. 特定空き家等（危険空き家）の対策について</p> <p>(1) 放置され倒壊の危険がある空き家を行政代執行できることなどの対策を盛り込んだ「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が完全施行されてから 2 年が経ち、自治体が行政代執行に踏み切るようになり、改善指導に応じてこなかった所有者が自主的に解体するケースも出始めた。水道の利用状況や固定資産税の納税情報等の照会も法的に認められ、空き家であることを確認したり、所有者を探す手段も増えた。しかし、特定空き家等の数は減少していないが、その原因はどこにあると考えているか。また、先進的な取組を行っている自治体を参考にし、当市独自の対策を打ち出すべきと考えるがどうか。</p> <p>2. 猛獣（クマ）対策について</p> <p>(1) 近年「ツキノワグマ」の出没・目撃件数が多くなってきており、これから秋を迎え、クマがエサを求めて人里へ頻繁に出没する可能性が極めて高くなることから、人身被害を未然に防止するための施策を講じることが重要である。予察や捕獲の強化を実施していくべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 猟友会会員の後継者不足が深刻である。人員の不足を補うためには他市との連携も必要だと思うが、市としてはどのような対策を打つのか考えを聞きたい。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p>12</p> <p>17 番 草 間 敏 幸</p>	<p>1. 平成 30 年からの米の栽培戦略について</p> <p>(1) 平成 30 年産米から、国による生産数量目標の配分と生産調整に協力した農家への補助金は廃止される。家庭用米の過剰作付けによる価格の下落が懸念され、県は生産数量目標に代わる目安を各市町村に提示し、各農家に割り当てるか否かは市町村の判断となっている。目安となる数量を各農家に提示すべきと考えるが、上越市農業再生協議会の対応はどうか。</p> <p>(2) 本県における家庭用米の主要銘柄は、「コシヒカリ」と「こしいぶき」だが、今秋に一般販売を開始する「新之助」は、県がプレミアム米と位置付けている。また、JA えちご上越の晩生種「みずほの輝き」と早生種で業務用に対応できる「つきあかり」は、期待される銘柄であるが、産地間競争が激しい中で出遅れ感がある。所得維持のために栽培戦略が重要と考えるがどうか。</p> <p>2. ワーク・ライフ・バランスの推進について</p> <p>(1) 多くの現代人には、仕事、家庭、地域、自己啓発などの様々な活動を自ら希望するバランスで生活することが求められている。子育てしながら仕事をする人にとっては、その両立支援は少子化対策にも繋がる。ワーク・ライフ・バランスの推進は、民間企業の取組が不可欠であり、市では産業観光部が所管しているが、ワーク・ライフ・バランスと男女共同参画には強い関連があり、事業を推進するためには関連した部署と連携して取り組むべきと考えるがどうか。</p>

順位	質 問 事 項	
議席 氏名		
13	1. 教育施策の現状と取組課題について	
26 番 宮 崎 政 國	<p>(1) 小中学校の適正配置では小規模校の所在する地域や保護者から様々な意見がある。教育委員会としての基本的な考えは。また、統合後の廃校施設の活用について、教育委員会ではどのように考えているか聞きたい。</p> <p>(2) 学習障害、多動性障害、高機能自閉症などの発達障害のある児童・生徒に対する支援を展開しているが、上越地域医療センター病院に新設される「児童精神科」との連携をどのように図る考えか聞きたい。</p> <p>(3) 自立活動指導の推進や授業のユニバーサルデザイン化等推進で「インクルーシブ教育システム」を目指し、教育的ニーズに的確に応えるとしているが、今後どのように推進するか、現状と今後の考えを聞きたい。</p> <p>(4) 当市では、中学校における部活動休養日の基準を設定しているか。また、チーム競技や個人競技など様々な部活動があり、多数の部員に対し顧問・指導者を複数配置する必要があると思うが、配置が適正に行われているか聞きたい。</p> <p>(5) 小規模特認校制度のメリット・デメリットをどう認識しているか。また、当市において、同制度を導入した事例あるいは導入予定はあるのか聞きたい。</p>	
順位	質 問 事 項	
議席 氏名		
14	1. 地域自治区制度について	
7 番 橋 本 洋 一	<p>(1) 合併前上越市という用語を用いて 13 区と使い分けている点について、いまだに市民から差別化、区分化につながるのではないかと危惧する声が聞かれ、「便宜上の必要」、「統計的な整理」などの説明では納得していないように見受けられる。合併から 12 年を経た今、28 区をベースにした市政運営と情報発信をしていく必要があると考えるがどうか。</p> <p>2. 地域防災力の向上について</p> <p>(1) 自主防災組織の現状を見ると、組織はあるものの自主的な防災活動が困難な町内会が見受けられる。人口減少が進む中で町内会の枠を超えた組織への移行など新たな自主防災組織のあり方について検討する時期にきていると考えるがどうか。</p> <p>(2) 上越市防災士会が発足して 10 年となり、28 区内には支部が設立されてきている。防災士は、民間資格であるが、地域防災への寄与は大きく、市民の生命と財産を守るために欠くことのできない組織である。今後、組織の活動に対する財政的な支援が必要と考えるがどうか。また、市では、防災士のいない町内会を対象に、防災士養成講座を実施しているが、防災士の後継者育成という課題もあることから、従来のような町内会を単位とした養成方法を見直すべきではないか。</p> <p>(3) 地域防災の要であり、地域の伝統行事の担い手でもある消防団の団員数の減少が著しい。今後の消防団のあり方についてどう考えているか。</p>	

順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
<p>15</p> <p>13 番 滝 沢 一 成</p>	<p>1. 高田公園の整備について</p> <p>(1) 高田公園北堀の広い範囲で 2 年にわたり蓮が生えなかった。その原因は何か。また何らかの方策をとる予定はあるか。</p> <p>(2) 大雨等の際、西堀・北堀が溢水することが増えている。水深が極端に浅くなっていることも一因と考えられるが、大規模な浚渫(しゅんせつ)を行うべき時が来ているのではないか。また蓮の健全な育成のためにも、必要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 遊歩道の整備について、その進捗状況とこれからの計画を明らかにしてほしい。</p> <p>(4) 上越市立総合博物館裏にあるお城稲荷とその周辺が荒廃している。市として何らかの整備を考えているか。</p> <p>2. J-ホールディングス(株)について</p> <p>(1) J-ホールディングス発足以来 4 年あまり経つ。この間を振り返り、どのように総括するか。</p> <p>(2) 前社長が残した経営哲学・手法がある。このいわば「イトウイズム」をどのように評価するか。また継承すべき点はあるか。</p> <p>(3) 新社長に期待することは何か。</p> <p>(4) J-ホールディングス(株)の「出資法人等経営状況報告書」によると、中長期経営計画が「なし」ということであるがなぜか。また現時点において、短期・中期・長期的視野から、どのように経営されていくべきかと考えるか。</p>	
順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
<p>16</p> <p>24 番 江 口 修 一</p>	<p>1. 新水族博物館について</p> <p>(1) オープン時の目玉になるイベント企画について聞きたい。</p> <p>(2) イルカの確保に関し、対応策をどのように考えているのか。</p> <p>(3) 新水族博物館を核とした地域活性化検討会で様々な活性化策が議論されてきたが、現状での成果及び具体的な実施策について聞きたい。また、まちなかへの誘導、回遊等の考えも合わせて聞きたい。</p> <p>(4) まちなか回遊策のひとつとして、新水族博物館発の循環バスを運行する考えはないか。</p> <p>(5) 多くの観光客が車で来ることが考えられるが、特に休日の渋滞対策などへの対応策は、どのように考えているのか。</p> <p>2. 日本遺産「北前船寄港地・船主集落」について</p> <p>(1) 追加登録の可能性はあるのか。また、登録後の展開をどう描こうとしているのか。</p> <p>(2) 観光施策の一環として、直江津港の内貿ふ頭内に千石船を復元してはどうか。</p> <p>3. 佐渡金銀山の世界遺産登録の取組について</p> <p>(1) 世界遺産登録に向けて、当市として何か応援できることはないのか。また、登録後は当市を經由して佐渡を訪れる人も増えると思うが、それを見据えた観光施策を今から考える必要があると思うがどうか。</p> <p>4. 「くわどり謙信公トレイル大会」と「くわどり湯ったり村」について</p> <p>(1) 将来的にこの大会をどう発展させていくのか。また、この大会を「くわどり湯ったり村」の活性化にどうつなげていくのか聞きたい。</p> <p>(2) くわどり湯ったり村の魅力をどのように捉え、今後、何を売りにし、どのように活用していくのか。</p>	



順位	質問事項
議席氏名	
17	<p>1. 特別な事情による任意予防接種費用の助成について</p> <p>(1) 当市では、骨髄移植手術等により定期予防接種で受けたワクチンの予防効果が期待できないと医師に判断され、任意で予防接種を再接種する場合、全額自己負担となる。感染症予防及び経済的な負担の軽減の観点から、特別な事情による再接種費用の助成を検討できないか。</p> <p>2. 住宅宿泊事業法（民泊新法）への対応状況について</p> <p>(1) 平成 29 年 3 月に「住宅宿泊事業法案」が閣議決定されたが、この新法に対する新潟県の方針はどのようになっているか。また、当市としてはどのような受止めをしているか聞きたい。</p>
9 番 田 中 聡	
順位	質問事項
議席氏名	
18	<p>1. 保倉川治水対策について</p> <p>(1) 平成 27 年に関川流域委員会の専門部会として設置された関川・保倉川治水対策検討部会は、今年 5 月に意見書を取りまとめ、7 月に同委員会に報告した。この専門部会の設置趣旨を改めて聞きたい。また、7 つの案に絞って検討を進めたが、その理由を聞きたい。</p> <p>(2) 平成 27 年当時、専門部会での検討後に、地元との意見交換が実施されると聞いていたが、どうなっているのか。</p> <p>(3) 放水路を整備する場合、その周辺地域における津波対策及び塩害対策をどう考えているか聞きたい。</p> <p>(4) 保倉川の堤防は、整備してから相当の年数が経過しているが、強度はどうか。また、保倉川や今後の放水路の管理についてはどう考えているか聞きたい。</p> <p>(5) 関川流域委員会などの今後の活動予定はどうなっているのか。</p>
18 番 大 島 洋 一	
順位	質問事項
議席氏名	
19	<p>1. 春日山城跡周辺の整備及び施設の活用について</p> <p>(1) 平成 21 年 3 月制定の春日山城跡保存管理計画書では、史跡整備・活用への基本的な取組として、具体的な整備の目標を示すとともに、整備活用の短期及び中長期目標として指定地の拡大、公有地化、資料調査や十分な計画と組織体制による整備等を目的とした発掘調査、保存整備、活用事業などの取組を目指している。策定から 8 年を経過したが、その進捗と課題について聞きたい。また、今後の見通しについて聞きたい。</p> <p>(2) 春日山城跡に隣接している埋蔵文化財センターの展示内容について、総合博物館のリニューアルに合わせ、謙信公を身近に感じられる施設として展示内容を変更する考えはないか。</p>
12 番 小 林 和 孝	

順位	
議席氏名	質 問 事 項
<p>20</p> <p>5 番 山 田 忠 晴</p>	<p>1. 子どものインフルエンザ予防について</p> <p>(1) 子どものインフルエンザ予防接種に対する助成を行う考えはないか。</p> <p>(2) 昨シーズン、インフルエンザにかかった市立の就園・就学児童生徒の数は、どのくらいか。それに伴う休園、休校、学級・学年閉鎖を行った例は、どのくらいあったのか。また、予防対策はどうなっているか。</p> <p>2. 豪雨による冠水への対応について</p> <p>(1) 近年、豪雨による道路等の冠水被害が増えている。冠水した箇所の現状と、それに対する現在の取組や今後の対策を聞きたい。</p> <p>(2) 市道には、アンダーパスの箇所がいくつかあり、豪雨により道路の冠水が起きないように対策を講じていると思うが、冠水が起こった場合の対応について聞きたい。</p>
順位	
議席氏名	質 問 事 項
<p>21</p> <p>16 番 橋 本 正 幸</p>	<p>1. 農業政策について</p> <p>(1) 上越市食料・農業・農村基本計画における「担い手の育成・確保」の項目では、集落営農型の法人等においては、構成員の高齢化が進む一方、後継者の確保・育成ができていない法人等が増えていることを指摘しているが、このことに対してどのような手立てを講じていく考えか。</p> <p>(2) 中山間地域では、ほ場条件が悪い農地も多く、生産性の低さから農地の受け手が少ないため、今後、維持できなくなる農地が増えてくる恐れがある。今後の対策をどう考えているか。</p> <p>(3) 地域農業を守るためにも、米の直接支払交付金制度の継続に向けて国に強く要望すべきと考えるがどうか。</p> <p>2. 生活保護について</p> <p>(1) 市民の暮らしを守る視点で、生活保護の仕組みや申請方法についての詳細を、さらに広く丁寧に周知することが必要であると考えがどうか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p>22</p> <p>28 番 上 野 公 悦</p>	<p>1. 市長のこれまでの市政運営について</p> <p>(1) 市長はこれまで、地方交付税の削減などによる「財政見通しの厳しさ」を強調し、「持続的な行財政運営」が厳しくなるとして、財政調整基金の積立と取崩しによる一般会計への繰出しという手法による財政運営を行ってきた。そうした中で、公の施設の統廃合や区総合事務所の組織見直し、使用料・利用料の引上げなど行政サービスの縮減、市民負担の増大につながる施策を行ってきた。他方では、「未来への価値ある投資」などと称し、オーレンプラザや新水族博物館の建設、新体操アリーナ建設計画など、大規模投資型の施策を次々に行っている。本当の価値ある投資は、市民の暮らしや福祉、安全がしっかりと確保され、このまちに住んでいてよかったとだれもが思えるような住民シフト型政治であるべきだ。このことを踏まえ次のことを聞きたい。</p> <p>ア これまでの市政運営をどのように総括しているか。これからもこうした市政運営を続けていくのか。</p> <p>イ そもそも「市民がど真ん中」の市政とは何か。</p> <p>2. 国政に対する市長の姿勢について</p> <p>(1) 市長はこれまで、「TPP」や「原発」、「安保法制」など、国政の重要問題に関してほとんど自らの考えを表明してこなかったと感じている。国の悪政から自治と市民の暮らしを守る防波堤の役割を果たす上では、国に対しても毅然とした姿勢を示すべきであると考えがどうか。</p> <p>3. (仮称)上越市体操アリーナについて</p> <p>(1) 今議会に新体操アリーナ建設を前提にした土地購入と造成に関する予算を提案している。大潟に2つ目となる施設は本当に必要なのかも含め、市民意見を聞くための十分な時間が必要ではないのか。</p> <p>4. 国宝太刀無銘一文字（号 山鳥毛）の購入について</p> <p>(1) この事業の現状はどうなっているか。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p>23</p> <p>15 番 平 良 木 哲 也</p>	<p>1. 地域医療構想について</p> <p>(1) 当市の住民への影響と課題をどのように考えているか。</p> <p>(2) 在宅医療体制の具体化にどのように取り組み、いつまでに行うつもりか。</p> <p>(3) 在宅高齢者を支える「新たな地域包括ケアシステム」の構築には、地域包括支援センターの機能強化が重要である。今回の当市における同センターの再編の進め方については委員会でも批判の声が上がったが、どう受け止めているか。</p> <p>2. 小中学校の教職員の多忙化解消について</p> <p>(1) 教員の多忙化と長時間労働が児童生徒に与える影響について、どのように認識しているか。</p> <p>(2) これまで取り組んできた多忙化解消の取組をどのように認識しているか。また、今後どのように取り組んでいく考えか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p>24</p> <p>29 番 橋 爪 法 一</p>	<p>1. 核兵器禁止条約をめぐる最近の動きについて</p> <p>(1) 国連会議での 7 月 7 日の核兵器禁止条約の採択をどう受け止めたか。</p> <p>(2) 広島市及び長崎市における平和祈念式典での地元市長の宣言をどう認識しているか。</p> <p>(3) 核兵器禁止条約が採択されたことを踏まえ、非核平和友好都市宣言自治体の首長として、その批准を政府に積極的に働き掛けるべきだと思うがどうか。</p> <p>2. 災害対策について</p> <p>(1) 7 月に発生した豪雨災害対策の総括はどのようにしているか。</p> <p>(2) 避難スペースでの洋式トイレの設置の現状と今後の対策について聞きたい。</p> <p>(3) 指定避難所の中には、指定管理施設や民間施設もある。市と施設管理者間の役割分担はどうなっているか。また、大規模災害時には、指定避難所以外の施設を避難所とすることもあり得る。こうした場合の対策について聞きたい。</p> <p>3. 指定管理者制度導入の状況と課題について</p> <p>(1) 指定管理施設での雇用の実態について把握しているか。</p> <p>(2) 指定管理施設での労働法令の遵守や雇用・労働条件への配慮について、指定管理者にどう提示しているか。具体的に明らかにされたい。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p>25</p> <p>19 番 渡 邊 隆</p>	<p>1. 木造住宅の耐震補助事業について</p> <p>(1) これら補助制度のニーズをどのように分析しているのか。</p> <p>(2) 本事業は、必要な取組と考えるが、制度内容を見直すことで、より事業効果を高めるべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 本事業を利用して耐震補強を施した住宅に対し、固定資産税の減免や中古住宅取得時の不動産取得税に対する補助を行うなど優遇を図ることも有効であると思うがどうか。</p> <p>2. 高田公園の活用について</p> <p>(1) 今年は蓮の生育が大変良く見応えがあった。この状態を維持するためどのような管理を行っていくのか。</p> <p>(2) 高田公園の新しい顔となるオーレンプラザを核とする南堀に橋をかけ、周辺の整備をすることにより、新たな憩いの場を創出してはどうか。</p> <p>(3) 公園の外周をランニング、ウォーキング、散策など多くの人が親しんで利用している。安全に利用できるように園路を繋げる整備が都市公園として必要ではないか。</p> <p>(4) 「蓮まつり」と称する「まつり」をさらに拡充するべきではないか。</p>